

市町村合併について意見交換

～地区懇談会～



10月8日(火)、登別温泉公民館で行われた登別温泉地区懇談会

10月7日(月)から29日(火)まで、市内11地区で平成14年度の『地区懇談会』が開催されました。

この地区懇談会は、住環境や地区の活性化、地区が抱える問題の解決などについて、各地区連合町内会の方と市長以下市の幹部が懇談を行うとともに、市が取り組んでいる主要施策や計画など、市政情報を提供するため、毎年開催しているものです。

例年は、希望する地区を対象に懇談会を開いてきましたが、今年は「まちづくりを進めていく上で『市町村合併』問題をどうとらえるか」という重要なテーマについて意見交換をするため、市内全地区で開催しました。

懇談会では、まず、市の担当職員が資料を使いながら、国が市町村合併を進める背景や室蘭市と白老町の財政状況などを説明。

参加した方からは「登別は室蘭と同じ生活圏。合併するのが自然」「合併するなら白老町や壮瞥町の方が良い」「判断できる情報が少ない」「本当に合併が必要なのか」など、さまざまな意見をいただきました。

市は、今後も市民のみなさんが市町村合併について考えていただくための情報を『広報のほりべつ』などでお知らせするとともに、さまざまな団体などの方と意見交換を行う予定です。

市町村合併については、市のホームページ (<http://www.city.noboribetsu.hokkaido.jp>) で、詳しくお知らせしています。

デンマークに広がる 友好の輪

～登別デンマーク協会親善訪問～

登別デンマーク協会が、訪問団を結成し、9月15日(日)から23日(月)までの日程で、デンマークのリング、ウイスリング両市を訪問しました。

訪問団15人は、現地でホームステイをしながら、登別を訪れたことのある方との旧交を温めたり、放送局やリサイクル施設、学校などを訪れ、友好の輪を広げてきました。

両市とは、登別マリンパークニクスがデンマークの古城イーエスコー城をモデルとしたことを縁に、平成2年から相互訪問など交流が続いており、平成7年には現地にリング、ウイスリング登別友好協会が発足しています。



デンマークの放送局を見学する訪問団のみなさん

津軽三味線の響き 聴衆を魅了

～吉田兄弟コンサート～

9月22日(日)と23日(月)の2日間、市民会館で『吉田兄弟コンサート』が開かれました。

富岸町出身の津軽三味線奏者『吉田兄弟』は、兄弟ならではの息の合



った若々しい演奏で、全国に多くのファンをもつ人気奏者に成長しました。

7年ぶりのふるさと公演となった今回のコンサートでは、時には力強く、時には繊細に奏でる高度な演奏技術を随所に披露。会場を埋め尽くした若者からお年寄りまで、幅広い年齢層の聴衆を魅了しました。

兄の良一郎さんは、終演後「ふるさとのステージで演奏でき感激で涙が出そうになりました。世界の吉田兄弟を目指してこれからもがんばります」と決意を新たにしていました。